

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名 進んで話し合い、発表しよう 『分類』ということ

2 指導観

- 本学年の子どもたちは、聞かれたことに対して自分の考えや思いを伝えようとする意欲はもっている。1学期に行った「話すこと・聞くこと」のアンケート調査でも「みんなの前や先生の前で、自分の考えや思っていることを進んで話せますか。」という問いに対して、「とてもできる」が22%、「だいたいできる」が48%と、約7割の子どもが積極的に話そうとしていることが分かる。しかし、3割近くの子供達は進んで話せていない。その理由として、「何をいっていいかわからない」「言い方がわからない」「はずかしい」に集中しており、言いたい気持ちはあるけれど、話し方が分からなかったり、自信がもてなかったりして積極的に話し合いに参加できていない状況にある。

1学期の「道案内をしよう」の単元では、大事な言葉や順序に気をつけて相手にわかりやすく説明をしたり、話を聞いたりすることを学習している。また、総合的な学習の時間においても「校区的よさを発見しよう」で校区の人にインタビューをしたり、調べたことを発表したりする経験もしている。しかし、聞き手を意識しながら話したり自分と他の人との考えを比べたりしながら話したり聞いたりする力が十分ついていない。また、話し手に身体を向けて聞く姿勢はできていても、持続して話の大事なところを聞き取ろうとする力が弱いため、話し手に反応し、共感的な態度で聞くまでには至っていない。

- 本単元では、「分類」することをもとに、分類の仕方について話し合ったり、身の回りで分類されているものを探して分かったことを発表したりすることを通して、お互いの考えを分かり合える話し合いの仕方や、聞き手によく分かる話し方を学ばせることをねらいとしている。

「分類」は、身の回りの様々な場面で行われているが、子どもたちは実生活においてその便利さを意識することは少ないと思われる。従って「分類」のよさについて話し合うことは子どもたちに、色々な分類の仕方を知ることで「分類」への興味関心を高めたり、自分の「分類」との共通点や相違点を考えながら話し合う力を身に付けさせたりするのに価値があると考え。また、身の回りの生活の中から「分類」を探してみようという意欲を持たせることで、「分類」を身近に感じ、意欲的に調べたことを発表することができると考える。

- 本単元の指導にあたっては、①「分類」のよさについて話し合い、学習のねらいを「つかむ段階」②調べたいテーマと調べ方を決め、話し方・聞き方を生かして調べ学習を行う「伝え合う段階」③まとめたことを発表する「生かす段階」の3段階で構成する。

「つかむ」段階では、自分のねこの分け方と友だちのねこの分け方を話し合いの中で比較することで、自分の考えを深め、分類することの意味や色々な分類の仕方があることを理解させていく。

そのために、まず教科書のねこの挿絵を1匹ずつ切り離したものを準備し、各自がそれを具体的操作することによって2つか3つのグループに分け、その分け方を説明できるようにプリントに整理させる。

次に、教科書の「話し合いで大切なこと」をもとに①友だちの意見と同じところと違うところに注意すること②分からないことは質問することを学び、ねこの分け方について実際にグループで話し合う。その際、ビデオによるよい例のモデル（意見の同じところや違うところに注意しながら話したり聞いたりしている場面、分からないことを質問している場面）を提示する。（モデル提示1）さらに、それを使って多くの練習を取り入れることで、話し方・聞き方のポイントや話

し合いの仕方を理解させ、定着させる。

その後、グループで話し合ったことを学級全体の中で発表させる。さらに、資料「分類」を読ませ、分類の意味や仕方の理解を深めさせる。

「伝え合う」段階では、分類についての調べたいテーマを決め、発表までの見通しをもって調べ、まとめたことが発表できるように練習させる。

まず、「分類発表会」を行うことを知らせ、校内で分類されている場所を探して、その中から1カ所調べたい場所を選ばせる。

次に、調べるための1つの方法としてインタビューがあることを知らせ、インタビューの良いモデルを提示する。(モデル提示2)その後、モデル文を使って、くりかえし練習させる。その際、インタビューをするときのポイントをしっかりおさえる。(教科書P81の①～⑥)

子どもたちがインタビューの仕方を身につけた上で、自分が調べる場所に行き、インタビューして調べさせる。その後、調べたことを(1)何がどのように分類されているか、(2)どのような工夫がされているか、(3)どのようなことに役立っているか、(4)調べて思ったことの4つの観点でまとめさせる。

最後に、整理した事柄を順序立てて発表できるように練習させる。そのために、CDによるよい例のモデルを提示することにより(モデル提示3)、話し方を確認し、前記の4つの観点をもとにワークシートを使いながら発表内容を組み立てさせる。

「いかす」段階では、発表会を行い、お互いの話す力や聞く力についての自己評価や相互評価をワークシートで行うようにする。その際、批判的な評価ではなく、良いところを見つけさせ、お互いに認め合う評価になるように気を付けさせる。そして、ここで学んだ「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」の力が日常生活のコミュニケーションにも生かせるようにしたい。

こんなモデル・提示の仕方

- グループでの話し合いの仕方を理解させるために、ビデオを使った映像によるモデル提示を行う。その際、友だちと同じところと違うところに気をつけて話したり、わからない点について質問したりしているよい例の児童による演説を見せ、その後モデル文を掲示し話し合いの仕方をつかませる。
- インタビューの仕方を理解させるために、テープを使った音声によるモデル提示を行う。その際、インタビューの仕方の具体的なポイントが分かるように、教師と児童によるインタビューを聞かせ、そのモデル文を使って全員で練習をさせる。
- 分類発表会での話し方を理解させるために、CDを使った音声によるモデル提示を行う。その際、事柄を整理し、順序を考えて話すことができるように、話し方の観点を掲示する。

3. 単元目標

- 分類することの意味に興味をもち、分類されている物を進んで調べることができる。
- 分類の仕方やその意味について、聞き手によく分かるように筋道を立てて話すことができる。
- 話の中心に気を付けて聞き、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、話し合うことができる。

4 指導計画 (全14時間)

段階	配時	ねらい	学習活動と内容	主な支援と留意点
つ か む	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねこを2つか3つのグループに分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元冒頭のねこの挿し絵を見て、どんなねこがいるか、いくつかの特徴に気付く。 ○ ねこを2つか3つのグループに分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つ一つ切り取ったねこの絵を使って、分かりやすく分類させる。
	本時 2/14 3の○ 3の○ 3の○	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループでねこの分け方について、話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の「話し合いで大切なこと」を押さえた後、ビデオを見て話し合いの仕方をつかむ。 ○ グループになり、ねこの分け方について話し合う。 ○ 「学習プリント」を書き、グループで話し合って思ったことを発表する。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>モデル提示1 (ビデオを使った映像) グループでの話し合いの仕方をつかませる。</p> </div> <p>大切な言葉 「わたしは○○さんと、<u>同じです。</u>」「わたしは○○さんと、<u>ちがいます。</u>」 進め方の言葉 「質問はありませんか。」 「わたしと同じ分け方をした人はありませんか」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで話しあった事をまとめて、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで分け方についてまとめ、発表する。 ○ グループでの話し合いを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすく発表するためのプリントを用意する。 ○ 発表の仕方を知らせる。 「私たちのグループで出た分け方を言います。一つ目は……です。二つ目は……です。…質問はありませんか。」 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料「分類」を読んで、いろいろな分類について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料「分類」を読み、分類することの意味と、いろいろな分類の仕方があることを知る。 ○ 教師の範読を聞く。 ○ 全員で音読をする。 ○ 国語辞典を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めに教師が一度ゆっくり範読する。 ○ 全員で音読し終わったら意味が分からない言葉を国語辞典で調べさせる。 ○ 資料を読んで、「分類」とはどのようなことかをノートにまとめさせる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 分類についてまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「分類」について表に整理しながらまとめる。 ○ 再度ねこのさし絵を見て自分の分類を見直し、グループで話し合う。二つの視点で分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一度分類したものをさらに分類する例を提示する。 ○ 一つ一つ切りとったねこの絵を使って分かりやすく分類させる。 		

伝 え 合 う	7 本時 6/14 3の○ 3の○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたいこととその調べる方法を決めて、発表の見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたいことをいくつか考えその中から一つだけ課題を決める。 ○ 教科書p81を読み調べ方の一つにインタビューがあることを知り、練習する。 ○ 学校内で分類されている場所について担当の先生や委員会活動の児童にインタビューして、調べる計画を立てる。 ○ 発表会までの見通しを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分類しているものの具体的な例をあげ、イメージが広がるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>モデル提示2 (テープを使った音声) インタビューの仕方や手順をつかませる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューの練習をグループでさせる。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の材料を集めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分類されてあるもののある場所を見たり、インタビューしたりして、発表の材料を集める。 ○ 観点を決め、調べたことをまとめる。 (まとめるための四つの観点) ① 何がどのように分類されているか。 ② どのような工夫がされているか。 ③ どのようなことに役立っているか。 ④ 調べて思ったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べ学習に入る前にそれぞれの課題と見通しを確認し、必要に応じて助言する。 ○ それぞれの作業に目を通し、達成状況を把握し、個に応じた指導をするようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表内容の組み立てを考えて発表の練習をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の組み立て方を確認する。 ○ 発表の組み立てを考える。 ○ 発表の練習をする。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>モデル提示3 (CDを使った音声) 発表の仕方をつかませる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ① 声の大きさや話す速さ ② 順序を考えて ③ 話すことを整理して <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の資料を用意させる。
い か す	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分類発表会をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「分類」の発表会をする。 ○ 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や友だちの「話し方・聞き方」はどうだったのか、自己評価・相互評価をさせる。 ○ 全員の発表を聞いて自分に生かしたいと思ったことと、発表を終えた感想を書かせる。

5 本時 (2 / 14)

6 本時の目標

- 自分の分類の仕方と、友達の分類の仕方を比べ、同じところと違うところに注意しながら話し合うことができる。
- モデル提示を通して話し合いの仕方を理解し、グループでの話し合い活動に生かすことができる。

7 本時指導の考え方

前時で子どもたちは、教科書にかかっているねこの絵を使って、2つか3つの分類をし、その分け方を説明できるように整理している。

本時は、ねこの分け方についてグループで自分や友達の分類の仕方の、同じところや違うところを見つけながら話し合うことをねらっている。

はじめに、教科書の「話し合いで大切なこと」をもとに、話すとき・聞くときにどんなことに気を付けたらいいかを確認する。①自分と同じところはどこか、自分と違うところはどこかに注意してきくこと、②分からないところは質問すること、である。

次に、3人で同じ考え・違う考えを出し合ったり、質問したりするよい例のビデオでのモデル提示を行う。モデルを提示することで、話す・聞く活動を通して自分の考えと同じとき・違うとき、どういう言葉で伝えているか具体的につかませる(同じ意見の言い方「~さんと同じです。」 違う意見の言い方「~さんと違います。」)。また、ビデオのモデルが、ねこの特徴を指しながら説明していることにも気付かせ、実際に自分が話すときに同じようにすることで、話す内容がより分かりやすくなることを捉えさせる。その際、モデル文(拡大したもの)を掲示して、話し合いの内容を正しく理解させる手立てとする。

その次に、各グループで、ねこの分け方についての話し合い活動をさせる。グループの人数を3・4人の少人数にすることで、自分の考えた分け方を話しやすいようにする。また、話し合いの初めの段階では、「同じです。」「違います。」を言うことを主な目的にし、後半は、質問することも意識した活動にできるようにする。そのために、話し合いの中で、上手に質問できているグループを代表として演じさせ、良かったところなどを全員で共通理解し、その後の活動に生かすようにする。教師は机間指導をし、子どもの良さを賞賛したり、うまくいっていないグループには適切な言葉をかけたりして、指導助言していくようにする。

最後に、本時の振り返りを行い、今日の自分の「話し方・聞き方」について自己評価させ、今日の学習で「~と同じです。」「~と違います。」の言葉を使ってみての感想を書かせ、子どもたちの伸びやがんばりを賞賛し、次時への意欲付けにしたい。

8 準備

- 教師 ねこの挿し絵の拡大図・「話し合いで大切なこと」の拡大図・話し合いのモデルビデオ・モデル文・ワークシート・ねこの挿し絵(グループ1枚ずつ)
- 子ども 前時に使用したワークシート

9 本時の展開

主な学習活動	主な支援と留意点
<p>1 前時を振り返り,今日のめあてを確認する。</p> <p>めあて _____ 友だちのねこの分け方と自分のねこの分け方とを, くらべながら話し合おう。</p>	<p>○ ねこの挿絵を見て,一人ひとりがねこを2つか3つのグループに分けたことを思い出させる。</p>
<p>2 「話し合いで大切なこと」を押さえ,話し合うときに気を付けることを共通理解する。 ①自分と同じところ・違うところに注意しながら聞く。 ②分からないところは質問する。</p> <p>3 今日の話し合いについてのモデルビデオを見て,話し合いの仕方を知る。</p> <p>4 それぞれのグループで,ねこの分け方について話し合う。 ・「～のところは〇〇さんと<u>同じです</u>。」 ・「私は〇〇さんと<u>違って</u>,～のように分けました。」 ・「かんづめをもっているねこと,魚をもっているねこは,<u>同じグループなんですか?</u>」</p> <p>5 振り返りをし,次時の学習の見通しをもつ。 ・ワークシートを使って,今日の学習を振り返る。 ・次時に,今日の学習で話し合いをしたことを他のグループに発表することを知る。</p>	<p>○ 教科書の「話し合いで大切なこと」を元にして,今日の話し合い活動で気を付けることを確認する。</p> <p>○ ビデオを見る前に,「話し合いで大切なこと」①②をどのように話しているか気をつけて聞かせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>モデル提示 ビデオを使った映像グループでの話し合いの仕方をつかませる。</p> </div> <p>○ ビデオを見た後, ・同じ意見の言い方 「～さんと同じです。」 ・違う意見の言い方 「～さんと違います。」 という言い方をすると分かりやすいことを理解させるために,モデル文(拡大したものを)を掲示し,確認する。また,ねこの特徴を指しながら話していることで,聞き手が分かりやすくなることもつかませる。</p> <p>○ 話し合いの初めの段階では,「同じです」「違います」を言うことを主な目的にし,話し合いの中で上手に質問をしているグループをモデルとして演じさせ,次は質問することも意識した活動にステップアップさせる。</p> <p>○ 机間指導で,上手な言い方ができている子を賞賛したり,話し合いが進んでいないグループには助言をしたりする。</p> <p>○ 自分の「話し方・聞き方」はどうだったのか自己評価させる。</p> <p>○ 良かったところ・うまくいったことを発表させる。</p>

5 本時 (6 / 14)

6 本時の目標

- インタビューの練習を通して、発表会までの見通しをもつことができる。
- モデル提示を通して、相手や目的を意識したインタビューの仕方を理解し、インタビューをするときのポイントに気を付けながら練習をすることができる。

7 本時指導の考え方

前時までに、子どもたちはねこの分類を通して、分類の意味や色々な分類の仕方があることを知り、自分の分類を見直したり、話し合いをして自分の考えを深めたりした。

本時は、身の回りで分類されているものに目を向けさせ、校内で分類されている場所を調べるための方法の一つとして、インタビューの仕方を学び、繰り返し練習することを目標としている。

これまでに子どもたちは総合的な学習の時間の中でインタビューを経験しており、大まかなインタビューの仕方については理解している。しかし、一問一答の簡単な質問に終わっていることがほとんどで、話し手の話を注意深く聞き、分からない時は聞き返したり、話の内容をさらに深めるような質問をしたりすることは、まだ十分にはできていない。

そこで本時は、相手や目的を意識したインタビューの仕方を理解し、インタビューをするときの6つのポイント(①あいさつをする。②何を聞きに来たのか伝える。③前もって考えておいたことを順序よく尋ねる。④相手の話を注意深く聞き、分からないときは、話の区切りで聞き返したり、質問したりする。⑤必要な場合メモをとる。⑥お礼を言う。)に気を付けながら、繰り返し練習をさせていく。その際、音声によるモデル提示で、どんなところが良かったかに気付かせ、インタビューのポイントを確認する。特に押さえるべきポイントは、④であり、これは、相手や目的をより意識し、話の内容を深めるための視点になっていると考える。

モデル提示については、まず職員室の中の棚や引き出しの分類についてインタビューしたモデルを提示し(モデル提示)、インタビューの仕方や手順をつかませる。モデル文は、2分程度、音声は教師と上級生で録音して作成する。次に、モデル文を掲示し、復唱しながら個人や全体で練習を行う。さらに、職員室の写真を見て質問したいことを考えさせ、担任を相手に、インタビューをさせる。(モデル提示)その後、自分が実際に調べる場所ごとに簡単な例文を記したワークシートに、質問メモを書き込み、2人組やグループで繰り返しインタビューの練習をさせる。そして代表児により演じさせ、良かったところを発表させ、その後の活動に生かすようにしていく。

最後に、本時のインタビューにおける「聞き方・話し方」について自己評価させ、次時への見通しと、調べる意欲をもたせるようにしていきたい。

8 準備

- 教師 モデルテープ・モデル文(拡大)・職員室の拡大写真・その他の場所の写真・ワークシート・ポイントを書いた短冊・ふり返しカード
- 子ども 前時までのワークシート

9 本時の展開

主な学習活動	主な支援と留意点
<p>1 前時までの活動をふり返り, 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 自分が調べる場所を確認させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 分類について調べるために、インタビューのれん習をしよう。 </div>	
<p>2 音声によるモデルを聞き, インタビューのポイントを確認する。</p> <p>(1) モデル文の中から, ポイントを見つけ, 出し合う。</p> <p>3 モデル文をもとに, インタビューの練習を行う。</p> <p>(1) モデル文の言葉を使い, 全員で復唱し合う。</p> <p style="padding-left: 20px;">・各自で練習 ・全体で練習</p> <p>(2) モデル文や写真から, もっと質問したいことを考えて, 担任にインタビューする。</p> <p style="padding-left: 20px;">・よいところを見つける。</p> <p>4 グループごとに調べる場所に当てはめて質問メモを書き, インタビューの練習をする。(図書室・保健室・体育用具室・音楽室・事務室・印刷室・リサイクル用品置き場)</p> <p style="padding-left: 20px;">・「この棚にはどんなものが入っているのですか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">・「なぜこのように分けているのですか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">・「〇〇ってなんですか？」</p> <p style="padding-left: 20px;">・「他に工夫していることはなんですか？」</p> <p>5 学習を振り返り, 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> モデル提示 テープを使った音声 </div> <p>○ 教科書の P 8 1 の①～⑥までのポイントを参考に, 特に④(相手の話を注意深く聞き, 分からないときは, 話の区切りで聞きかえしたり, 質問したりすること) を押さえる。</p> <p>○ モデルは, 職員室の棚や引き出しの分類を取り上げる。</p> <p>○ モデル文は拡大したものを掲示する。</p> <p>○ 全体で練習する場合は, 答える役は担任がする。</p> <p>○ 質問が考えられない子は, 友達の発表を聞き, どんなことを質問しているのかを考えさせ, 板書にまとめるようにする。</p> <p style="padding-left: 20px;">・物の名前・使い方・工夫・意味など</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> モデル提示 子ども </div> <p>○ 場所ごとのワークシートにインタビューの例文を準備しておき, 質問メモを付け加えさせる。</p> <p>○ 机間指導を行い, 質問が書けない児童にはモデル文を参考にさせる。</p> <p>○ イメージしやすいように, その場所の写真を各グループに持たせておく。</p> <p>○ 上手にできているグループに演じさせ, 良かったところを発表させる。</p> <p>○ 振り返りカードで自分の「話し方・聞き方」について自己評価させる。</p> <p>○ 次時は実際にインタビューをする計画を立てていくことを知らせる。</p>